

安心・安全の社会構築のために

脳血管疾患の救急医療体制拡充に全力(医療) 駅のバリアフリー化が着実に前進(福祉)

横浜市会議員 かのう重雄

画期的な脳卒中 (脳梗塞)治療薬 t-PAの普及を

後遺症がほとんど残らない患者が1.5倍増えます。

脳卒中は寝たきり原因の第1位。これまで根本的な治療がないとされてきた脳梗塞に、血栓を溶かす効果

的な治療薬「t-PA」が平成17年10月から医療保険の適用となりました。この治療の普及で後遺症が残らない人が1.5倍に増加すると期待されています。

発症3時間以内が勝負

この治療は、発症3時間以内が有効とされています。

横浜市におけるt-PA 対応の救急医療体制を提案

私は、医療保険適用後の平成17年11月の常任委員会でt-PA等に対応した救急医療体制を提案。その後

横浜市は、平成21年4月より脳血管疾患救急医療体制



脳卒中对策基本法の署名活動

法制化求め署名活動

この治療の普及と、治療成績公表を人れ込んだ脳卒中対策を強化・前進させるには、総務省・厚生労働省等が連携した「脳卒中对策基本法(仮称)の制定」が必要で、市民の命と健康を守るセーフティネットを築くため、現在、日本脳卒中協会や患者団体と共に、法整備のための署名活動を展開しています。

三ツ境駅の バリアフリーが着々!



三ツ境駅エスカレーター屋根設置工事

安心・安全の更なる実現に諸団体と連携

平成12年、交通バリアフリー法の施行を受け、平成14年8月に地元諸団体、商店街と連携して三ツ境駅のバリアフリー推進の要望書を相鉄本社に提出。以後、ライフワークの一つとして、地域のバリアフリーを着実に推進してきました。

三ツ境駅をバリアフリー のモデル地区に

平成15年度決算委員会では、地域のバリアフリー化を加速させるため三ツ境駅

周辺を「交通バリアフリー基本構想のモデル地区に」と提案。この質問を機に三ツ境駅が市の都心・副都心以外で初の重点整備地区に決定、整備が大きく前進する流れができました。

続々とエレベーターが完成

平成18年に三ツ境駅南口、平成20年には北口タタシ乗り場横にエレベーターが完成しました。さらに今後、区役所へ向かう歩道橋から厚木街道の歩道に降りるエレベーターも設置されます。現在、南口ダイエー側のエスカレーターに屋根を設置する工事が進められておりまもなく完成します。これまで雨天時は危険防止などの理由で運転されていませんでしたが、これにより全天候に対応した安心・安全のエスカレーターに生まれ変わります。

平成15年度決算委員会では、地域のバリアフリー化を加速させるため三ツ境駅周辺を「交通バリアフリー基本構想のモデル地区に」と提案。この質問を機に三ツ境駅が市の都心・副都心以外で初の重点整備地区に決定、整備が大きく前進する流れができました。

かのう 重雄
公明党横浜市会議員団 瀬谷事務所
瀬谷区三ツ境 125-25 ☎365-2054 📠365-1690